

4 地域別色彩景観計画の検討手順

地域や街区別に色彩景観計画を策定する際は、対象とする地域を設定し、つぎの手順で色彩景観の方向づけを行います。色彩景観計画は、建築や構造物の個別の色彩を論じるものではなく、それらが集合した景観全体の色彩の雰囲気計画するものです。景観の特質を共有し、まとまりある景観を形成する地域や街区を単位として計画します。諸開発計画などでもこの考え方と手順が広く活用されることが望まれます。

手順1. 対象とする地域や街区の現況景観調査を行います

- 土地利用形態、建築物等の形状やボリューム・色彩、自然との関係、眺望状況など。

手順2. 景観コンセプトを設定します

- 現況景観や関連するまちづくりの方針などをふまえながら、景観の望ましい方向づけを行います。

手順3. 色彩景観イメージを設定します

- 調査結果と景観コンセプトをふまえて、めざす色彩景観イメージを設定します。
- めざす色彩景観イメージを言葉で考え、それにふさわしい[カラーフレーム]で表現します。
- [カラーフレーム]は複数にわたることが多いと考えられます。色調を選び、次に色相を検討します。
- ここでは、人工物だけでなく自然物も含めて表現する場合があります。

手順4. 基調色と強調色に分けて[カラーフレーム]で選定します

- めざす色彩景観イメージを表現するにふさわしい基調色と強調色を[カラーフレーム]で選定します。人工物の色選定の目安となります。
- ここからは、対象を人工物に絞って検討します。
- [カラーフレーム]の選定範囲を狭めるほど、地域の色彩景観の特徴を明瞭に表現できます。

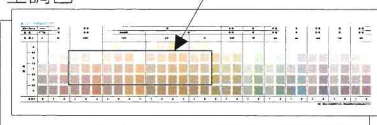
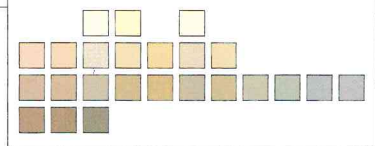
手順5. 必要に応じて目安となる色彩群を示します

- 必要に応じて、選定した基調色と強調色の[カラーフレーム]の内容を分解し、具体的に建築物や構造物などのベースカラーやアクセントカラーの選定の目安となる色彩群を示します。
- 手順4で選定した[カラーフレーム]は多くの色彩を含んでいます。その中から地域別色彩景観計画としてふさわしい色彩とふさわしくない色彩を選別し、具体的な色彩を選びます。これを目安色とします。
- 目安色の選出範囲を狭めるほど、地域の色彩景観の特徴をより明瞭に計画できます。

景観として見える色あいを計画する。計画手順をふんで進め、必要に応じてフィードバックさせる

建築物などの新築・増築・改修・塗替えに際して、設定した色彩計画を守り、よりよい色彩景観をつくりだしましょう。

表現例

対象地区	表現例 A（住宅地）	表現例 B（商業地）																																																																																																																																				
手順 1 . 景観の現況調査	やや雑然とした色彩景観。 樹木が比較的多い。……	雑然としている。 華やかさに乏しい。……																																																																																																																																				
手順 2 . 景観コンセプト の設定	自然の緑と調和した落ち着いた雰囲気 の住宅地	秩序づけながらもにぎわいのある商店街																																																																																																																																				
手順 3 . 色彩景観イメージ の設定	暖かみのある低彩度色を基調に することで樹木の緑と調和させる。	明るめの基調色に色調の異なる色を 混在させ色彩コントラストを大きくする。																																																																																																																																				
（[カラーフレーム]で示す。 [カラーフレーム]の表現 方法は目的に応じて自由）																																																																																																																																						
手順 4 . 基調色と強調色 の選定	基調色は [グレイッシュな色調の黄赤・黄色]	基調色は [グレイッシュな色調。ただし紫・赤紫・赤 は使用しない] [淡い色調の黄色]																																																																																																																																				
	<table><tr><th></th><th>赤</th><th>黄赤</th><th>黄</th><th>黄緑</th><th>緑</th><th>青緑</th><th>青</th><th>青紫</th><th>紫</th><th>赤紫</th></tr><tr><td>淡い色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>グレイッシュな色調</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>おだやかな色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>深い色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>さえた色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫	淡い色調											グレイッシュな色調		○	○								おだやかな色調											深い色調											さえた色調											<table><tr><th></th><th>赤</th><th>黄赤</th><th>黄</th><th>黄緑</th><th>緑</th><th>青緑</th><th>青</th><th>青紫</th><th>紫</th><th>赤紫</th></tr><tr><td>淡い色調</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>グレイッシュな色調</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>おだやかな色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>深い色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>さえた色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫	淡い色調			○								グレイッシュな色調		○	○	○	○	○	○				おだやかな色調											深い色調											さえた色調										
	赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫																																																																																																																												
淡い色調																																																																																																																																						
グレイッシュな色調		○	○																																																																																																																																			
おだやかな色調																																																																																																																																						
深い色調																																																																																																																																						
さえた色調																																																																																																																																						
	赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫																																																																																																																												
淡い色調			○																																																																																																																																			
グレイッシュな色調		○	○	○	○	○	○																																																																																																																															
おだやかな色調																																																																																																																																						
深い色調																																																																																																																																						
さえた色調																																																																																																																																						
	強調色は [おだやかな色調の黄赤・黄色] [深い色調の黄赤・黄色]	強調色は [さえた色調の赤色] [深い色調。ただし紫・ 赤紫色は使用しない]																																																																																																																																				
	<table><tr><th></th><th>赤</th><th>黄赤</th><th>黄</th><th>黄緑</th><th>緑</th><th>青緑</th><th>青</th><th>青紫</th><th>紫</th><th>赤紫</th></tr><tr><td>淡い色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>グレイッシュな色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>おだやかな色調</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>深い色調</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>さえた色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫	淡い色調											グレイッシュな色調											おだやかな色調		○	○								深い色調		○	○								さえた色調											<table><tr><th></th><th>赤</th><th>黄赤</th><th>黄</th><th>黄緑</th><th>緑</th><th>青緑</th><th>青</th><th>青紫</th><th>紫</th><th>赤紫</th></tr><tr><td>淡い色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>グレイッシュな色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>おだやかな色調</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>深い色調</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>さえた色調</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫	淡い色調											グレイッシュな色調											おだやかな色調											深い色調	○	○	○	○	○	○	○				さえた色調	○									
	赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫																																																																																																																												
淡い色調																																																																																																																																						
グレイッシュな色調																																																																																																																																						
おだやかな色調		○	○																																																																																																																																			
深い色調		○	○																																																																																																																																			
さえた色調																																																																																																																																						
	赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫																																																																																																																												
淡い色調																																																																																																																																						
グレイッシュな色調																																																																																																																																						
おだやかな色調																																																																																																																																						
深い色調	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																															
さえた色調	○																																																																																																																																					
（[カラーフレーム]で示す。）																																																																																																																																						
手順 5 . 目安色彩群を示す	基調色  強調色	基調色  強調色																																																																																																																																				
（表現方法は自由）																																																																																																																																						

建築物の色彩設計

建築物の外観は、景観の色彩イメージを構成する大きな要素です。市街地では、さまざまな外観色が集まって景観の基調色を形成しているといえます。この章ではとくに建築物について、[カラーフレーム]の考え方を取り入れ、景観的視点からよりよい外観の色彩設計を行うための留意点を示します。

1 色彩設計の手順

1. 色彩景観計画が策定されている地域で新築や外装改修を行う場合

色彩景観イメージで示された考え方([カラーフレーム]や目安色)が表現できる具体的な使用色を選定し、色彩設計を行います。

景観の色彩を検討する場合は見かけの色の大きなイメージで論じていますから、示された[カラーフレーム]の範囲に含まれる色彩であっても、素材によっては好ましくない色もありますので注意が必要です。

2. 色彩景観計画が策定されていない地域で新築や外装改修を行う場合

地域の色彩景観とつながりのない不用意な“突出色”を防ぐために、色彩景観計画の手順と同様の考え方で色彩の選定を行きましょう。対象建築物のみが自己主張しないように、周辺環境を把握してこれらと色彩的なつながりをもった外観色を選ぶことがポイントです。

手順1. 立地周辺地域の現況特性を調査把握します

- 地域特性の概況
土地利用形態、建築用途、周辺建築物の形態意匠
- 周辺建築物の色彩状況
どのような色彩が多いか、地域の色彩傾向を[カラーフレーム]で把握します。目立つ色の建築物があるか、目立つ原因は。
- 地域の計画やまちづくりの方向性
「建築美観誘導基準」「地区計画」などで既に景観のコンセプトが設定されている地域もあります。
- どこからの眺めを重視するか。

手順2. 色彩設計コンセプトを設定します

- 調査内容をふまえて、地域にふさわしい建築のあり方を考え、色彩設計の方向性を明確にします。

手順3. 望ましい外観色彩イメージを[カラーフレーム]で考えます

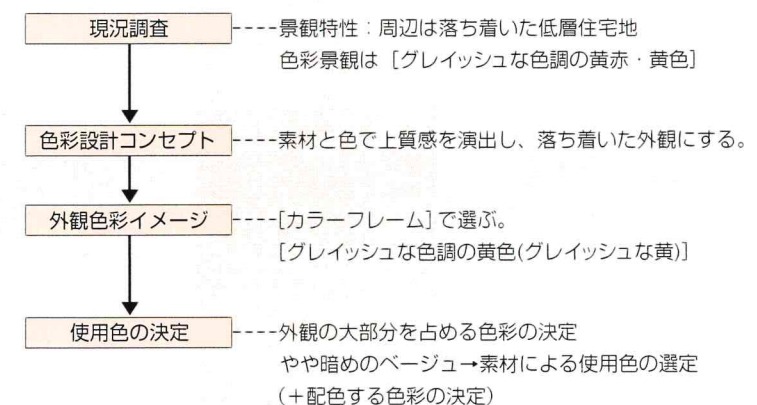
- 外観の大部分を占める色彩について、設定した色彩設計コンセプトを生かせるような色彩(望ましい外観イメージ色)を[カラーフレーム]で捉えて考えます。
- 大阪市の景観基調色の目安として示した巻末の色彩群を参考にしてください。
- 使用予定の外装仕上材から自ずと使用できる色彩が限定される場合がありますが、周辺景観との調和を優先させて外装仕上材を選ぶことが望まれます。

具体的な使用色の設計であるが、[カラーフレーム]の考え方を利用する

手順4. 使用色を決定します

- 選定した[カラーフレーム]に含まれる色彩で、外観の大部分を占める色彩を決定します。
- 外観の一部に他の色彩を用いる場合は、建築物の用途や規模などを考慮しながら自由な色彩を用いることができますが、大部分を占める色彩との調和を検討しながらなるべく小面積でセンスよく選色しましょう。

外観色彩設計の例



3. シンボル、ランドマークとなる建築物や構造物の場合

景観全体から個々の要素を考える場合、すべての要素が引き立つようにつくられてしまうと、景観としてはとてもごたごたしたものになってしまいます。何が引き立つべきかをあきらかにし、それ以外の要素には、それを引き立たせるための控えめなデザインが施されるべきです。

どの建築物や構造物が地域景観のシンボル、ランドマークになるべきかは、施主や設計者の意向のみで決めるものではありません。このような施設は景観に与える影響がきわめて大きいため、その適不適を含め、当然より多くの人々の意見を聞き、幅広い議論を行いながら慎重にデザインを決定していくことが重要です。

また、シンボル性やランドマーク性は、強い色(高彩度色)を使用しなければ演出できないということではなく、形態やデザインによって演出することもできます。周辺環境に調和するよう、素材やデザイン・色彩などを含めて総合的に検討することが大切です。

シンボル性やランドマーク性の高い建築物は、むしろ色彩に頼るべきではない